

Newsletter

東京歯科大学市川総合病院 角膜センター
〒272-8513 千葉県市川市菅野5丁目11-13
TEL: 047-324-5800 FAX: 047-324-8590
www.eyebank.or.jp



2016年10月10日(祝・月) 第19回ドナーファミリーの集い® ラン・フォー・ビジョン® 開催報告



第20回ドナーファミリーの集い®

ラン・フォー・ビジョン® 2017

次回、2017年10月22日(日)予定



熊本の復興を祈って

熊本地震で被災された地域の一目も早い復興を祈って、会場にて「くまモン募金」を行いました。集まりました4,306円は、(公財)熊本県移植医療推進財團に全額寄付致しました。また、参加企業様のブースを巡るスタンプラリーの景品「くまモンふりかけ」は、予定の100個を配り切りました。品切れでお渡しきれなかった皆さん、すみませんでした。

ドナーホットライン 047-324-1010 (24時間対応)

御挨拶

大会委員長
東京歯科大学市川総合病院
角膜センター長
島崎 潤

今年のドナーファミリーの集い®、およびラン・フォー・ビジョン®は、天候にも恵まれ予定通り開催された。午前中のドナーファミリーの集い®には、185名の皆さんにご参加いただいた。この集まりでは毎回、角膜移植およびアイバンク活動に関わる様々な立場の方々のエネルギーを受け、自分が医師を志した時分の気分を思い出させてくれる貴重な機会となっている。今回は、例年通りのドナーファミリーやレシピエントの方々のお手紙の朗読やビデオレター、眼科医師のスピーチからなる第一部と、角膜移植を受けた後に趣味に打ち込んでおられる患者さん達による音楽コンサートの第二部が開かれた。偶然お二人の患者さんとも私が手術を手がけさせていただいたご縁で、自分の治療がいかに患者さんの人生を左右するものであるかが如実にわかり、嬉しい気持ちとともに身が引き締まる思いであった。

午後は気温がやや低めであったが、絶好のラン・フォー・ビジョン®日和となった。国士館大学防災・救急救助総合研究所、医療チームのバックアップのもと不慮の事故への備えを持って行われたが、大きな事故もなく催された。関東学生陸上競技連盟のランナーによる伴走は、すっかりこの会の名物の一つとなった。閉会式でのスピーチを聞いても伴走者もそれぞれ良い体験となったことがうかがい知れた。また今年は、かねてより要望の多かったランニングタイムの計測が行われた。ポータブルの機器を持ち込んでの計測作業であったが、大きな混乱もなく終えることができた。昨年に比べて24名多い参加者が来られたのには、この計測があったことも関係していたかもしれない。来年はドナーファミリーの集い®、およびラン・フォー・ビジョン®も20周年の節目を迎える。関係者の方々とも相談をして、節目にふさわしい集まりを企画したい。毎年のことではあるが、今年も様々なグッズや商品を提供してくださったスポンサー企業の方々、ボランティアの方々、東京視覚障害者ランニングクラブ、その他のスタッフと多くの皆さんに、この場を借りて篤く御礼を申し上げたい。



スペシャルサンクス！ Special Thanks go to the Volunteers.

当日、受付・案内・設営・給水・走路監察などを担って下さいました以下の皆様に心より御礼申し上げます。

東京視覚障害者ランニングクラブ 34名 / 台東区立駒形中学校有志 16名 / ワシエスマディカル(株) 2名 /
(株)ペガサスグローバルエクスプレス 15名 / (株)エスアールエル 10名 / (株)ホワイトメディカル 3名 / HOYA(株) 2名 /
参天製薬(株) 4名 / (医社)慶翔会両国眼科クリニック 1名 / (公社)日本臓器移植ネットワーク 1名 /
東京歯科大学市川総合病院看護部 7名 / 角膜移植患者の会 5名 / 関東学生陸上競技連盟 10名 /
東京麻布ライオンズクラブ 12名 / ライオンズクラブ国際協会330A地区献眼・献腎委員会 15名 / 児童劇団「大きな夢」16名 /
慶應義塾大学病院眼球銀行 3名 / 東京大学医学部附属病院組織バンク他 3名 / (公財)熊本県移植医療推進財団 1名 /
(公財)静岡県アイバンク 1名 / (公財)山形県アイバンク 1名 / 北里大学病院骨バンク1名 / 順天堂アイバンク1名 /
その他のボランティアの皆さん

(順不同・敬称略)

ドナーファミリーの集い® DONOR FAMILY DAY

「第19回ドナーファミリーの集い®」が、今年は、目の愛護デーでもある10月10日に、イイノホール&カンファレンスセンターにて開催されました。この会は、移植患者様の「直接お会いしてお礼が言いたい」という言葉から始まりました。ドナーファミリー・移植患者様・医療従事者・サポーターの方々が一堂に集い、様々な感謝の気持ちを伝え合います。開会の辞に続き、会場全体でドナーのご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

この集いでは、毎年アイバンクに寄せられる角膜提供を決意されたドナーファミリーの声、アイバンクに関係する医療従事者の声、移植をお受けになられた患者様の声を様々な形で紹介する「こえ」のコーナーをお届けしております。

今年は、この「こえ」のコーナーを二部制にし、第一部では様々な想いでご献眼されたドナーファミリーからのお手紙の朗読とビデオレターで故人への想いや角膜提供に対する考え方、そして実際に角膜移植手術によって光をつなぐ移植医からは移植医療に対する医師としての考え方や志を、お話ししていただきました。第二部では角膜という光の贈り物を受けとった移植患者様からの贈り物-GIFT-ということで、音楽会を行いました。実際に移植患者様に御登壇頂き、移植をうけてから始められたサックスをご披露いただいたり、移植を受けたことで元気に活動を続けられているハワイアンバンドで曲を披露していただいたりと、感謝の気持ちがこもった演奏に、会場が温かい気持ちに包まれました。それぞれの立場での想いや気持ち、そして感謝の気持ちが共有でき、会場はそれぞれの感謝の涙であふれました。

作品展

会場入り口のホワイエにおいて、移植患者様・ドナーファミリーの作品を展示いたしました。患者様の感謝の気持ちがこもった作品やドナーファミリーの故人を想う作品に対し、参加者は真剣な眼差しで観覧されておりました。光のリレーに対する感謝の気持ちが皆様に伝わったと同時に、移植医療について考えるよいきっかけとなつたと思います。その他、ご後援・ご共催いただいた公益社団法人日本臓器移植ネットワークおよびアイバンクのポスターなどを啓発用として展示させていただきました。



～参加者の声～

- 音楽会を始めとした明るい雰囲気の会となり良かったです。（ドナーファミリー）
- 楽器の音色が心に響き、自然と涙が出ました。（移植患者）
- ドナーの御家族に握手を求められました。心が一つに結びついた瞬間でした。（移植患者）
- 同じ境遇にいる移植患者の力強いメッセージに感銘を受けました。（移植患者）
- 異なる立場の人たちが同じ会場にいるこの瞬間！素晴らしいを感じました。（医療スタッフ）
- 自らの仕事の意義を確認し、今後の医療向上へ役立てようと思いました。（医療スタッフ）



東京歯科大学市川総合病院
病院長 西田 次郎



ライオンズクラブ国際協会
330-A地区ガバナー
村木 秀之様



厚生労働省健康局難病対策課
移植医療対策推進室室長補佐
林 久善様



東京歯科大学
市川総合病院眼科
谷口 紫



司会
元フジテレビアナウンサー
木幡 美子様

児童劇団「大きな夢」

児童劇団「大きな夢」の子どもたちより、優しい歌声のプレゼントが贈られました。児童劇団「大きな夢」関係者の皆様には、会の趣旨にご賛同いただき、毎年たくさんの子どもたちにご協力いただいております。子どもたちの響く歌声♪「ぼくの心もありがとう」が参加者全員の心をつなぎ、閉会を迎えるました。



【共催】慶應義塾大学病院眼球銀行、(公財)静岡県アイバンク、(一財)北海道アイバンク、(公財)山形県アイバンク、(公財)兵庫アイバンク、(公財)熊本県移植医療推進団体、読売アイバンク、東京大学医学部附属病院組織バンク、(公財)福井県アイバンク

【後援】厚生労働省、日本角膜学会、(一社)日本再生医療学会、(一社)日本抗加齢医学会、(公社)東京都眼科医会、東京麻布ライオンズクラブ、市川パインツリーライオンズクラブ、行徳ライオンズクラブ、東京視覚障害者ランニングクラブ、(福)日本点字図書館、(公財)日本テレビ小鳩文化事業団、(公社)日本臓器移植ネットワーク

【協力】関東学生陸上競技連盟、NPO日本盲人マラソン協会、児童劇団「大きな夢」、(協)日本俳優連合、国士館大学防災・救急救助総合研究所
東日本高速道路㈱、(株)ランナーズステーション、(株)コー・ランナーズ

関東学生陸上競技連盟

当大会では、視覚障害ランナーの伴走を関東学生陸上競技連盟に所属し、お正月に行われる「東京箱根間往復大学駅伝」に選抜された大学の選手たちにお願いしています。今年は、日本体育大学5名、国士館大学4名、事務局1名の計10名の選手が、視覚障害ランナーと息を合わせリードしてくれました。閉会式で行われた、参加者のみなさまがお待ちかねの抽選会では、プレゼンターとして、さわやかな笑顔で会場をおおいに沸かせてくれました。

参加者の声 伴走という、普段経験することのない大変貴重な経験をさせてもらつてうれしかったです！ 自分が伴走した視覚障害者の方がとても速くてびっくりしました～（関東学連所属 伴走者）

メディカルサポート体制

万一の事態に備え、今年も国士館大学防災・救急救助総合研究所の救急救命士および養成学生からなるAED隊に皇居周回コース上の救護を依頼しました。

加えて健康広場とゴール地点にスタンバイした東京歯科大学市川総合病院の看護師4名によって万全の救護体制が取られ、今年もランナー全員が無事に閉会式を迎えることができました。

参加者の声 今年も大きな事故無く終えることが出来、安堵しております。皇居周辺を走る、素敵なマラソン大会のサポートさせて頂いたこと、誠に光栄です。（国士館大学防災・救急救助総合研究所 救急救命士 上杉純平）

東京視覚障害者ランニングクラブ

視覚障害者が安全に楽しく運動することを目的とし発足されたこのクラブは、当大会の第1回目より、走路監察を中心に視覚障害者のサポート、伴走教室、競技全般の誘導を行ってくださっています。今年も台東区立駒形中学校の16名の学生ボランティアを含めた50名のメンバーがコース係員として皇居周回23地点で、ランナーを見守ってくださいました。各地点を通過する際に「がんばれ～、がんばれ～！」と常に声援を送ってくださいり、ランナーの心強い味方となっています。



【協賛】 **ACUVUE**®
BRAND CONTACT LENSES



日本アルコン株式会社

ロート製薬株式会社

長尾慎一税理士事務所

Santen

SUNCREST **UNITED**

今日を愛する。
LION

Dole

pEgasus

SEED

RYOGOKU EYE CLINIC
医療法人社団 健用会
両国眼科クリニック

WHITE MEDICAL
株式会社ホワイトメディカル

Medi Produce

熊本県ライオンズクラブ
献血・献眼・献血 運動協力会

NPO法人グリーフケア支援協会

市川パインツリーライオンズクラブ

ワシエスメディカル株式会社

株式会社エスアールエル

株式会社メディカル菱出版

医療法人社団 藤和会 加藤眼科

興和株式会社

HOYA株式会社

コカ・コーラライーストジャパン株式会社

株式会社モリア・ジャパン

株式会社オグラ

行徳ライオンズクラブ

株式会社コナーン・メディカル

株式会社アイタック

わかもと製薬株式会社

株式会社フォーシーズ

チャリティー大会の収益金の一部は、主催・共催アイバンクおよび組織バンクの活動推進のために役立たせていただきます。

ラン・フォー・ビジョン®

RUN FOR VISION

午後の部、ラン・フォー・ビジョン®には総勢289名の皆様のエントリーを頂きました。

大会当日、日比谷公園健康広場には部門ごとに色違いのTシャツを着用したランナーが賑やかに集まりました。ご来賓の祝辞や諸注意の説明を受けた後、スタート地点の桜田門前広場に移動し、14時半にはライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナー村木秀之様の合図でゴールを目指してスタートしました。視覚障害のあるランナーと伴走者も息の合った走りを見せ、沿道の方からの応援を受け、ランナーそれぞれのペースでランニングを楽しみました。

今回はタイム計測を実施したこともあり、満足されたお声もたくさん頂戴いたしました。

16時から健康広場にて上位入賞者のメダル授与式が例年通り行われ、達成感に満ちた入賞者の表情とそれを称える参加者のみなさまの温かな拍手が印象的な授与式でした。

本大会を開催・運営するにあたり、ご協力・ご尽力下さいました皆様に心より御礼申し上げます。来年も皆さんにお会いできますよう、ご参加をお待ちしております。

～ランナーの声～

- 初めての参加でした。次は10Kmに参加します！！天候に恵まれて楽しく走れました。
- 移植患者の方が給水所で応援してくれ、足取りも軽くなりました！
- 親子で参加したので、きれいで使いやすいランステがお得に利用でき、良かったです。
- タイム計測でモティベーションアップ！！
- 途中に距離表示があったらもっと良かったかも。
- なぜか去年よりタイム落ちました！？ 来年はリベンジを狙います。